

平成29年度

27th

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

入選作品

- 主催 伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト実行委員会
(栗原市、登米市、(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
- 後援 宮城県、(一社)栗原市観光物産協会、(一社)登米市観光物産協会、
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会、
河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、
毎日新聞仙台支局
- 協賛 富士フィルムイメージングシステムズ(株)、宮城県写真商業組合

入 選 者

各 賞	題	氏 名	住 所
最優秀賞 (宮城県知事賞)	内沼の夕暮れ時	三 浦 明 彦	登米市中田町
優秀賞 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団理事長賞)	Power of life	狩 野 博 美	登米市迫町
金 賞 (栗原市長賞)	力くらべ	庄 子 源 六	仙台市若林区
金 賞 (登米市長賞)	月夜の罫入り	大 森 俊 裕	仙台市泉区
銀 賞 (栗原市観光物産協会会長賞)	飛 沫	藤 江 健 一	岩手県一関市
銀 賞 (登米市観光物産協会会長賞)	昇陽の刻	森 川 隆	大崎市古川
銀 賞 (宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会会長賞)	暁 天	千 葉 保 幸	栗原市若柳
銅 賞 (河北新報社賞)	晩秋の灯り	金 子 ひろみ	埼玉県入間市
銅 賞 (読売新聞東北総局長賞)	無限のまえに	工 藤 俊	福島県郡山市
銅 賞 (朝日新聞仙台総局長賞)	盛 夏	日 野 俊 文	宮城県七ヶ浜町
銅 賞 (毎日新聞仙台支局長賞)	楽 園	伊 藤 利喜雄	岩手県一関市
入 選	ただいま	小 幡 幸 一	宮城県松島町
入 選	スノウホワイト	二階堂 正 宏	栗原市築館
入 選	ハス花にツバメ	伊 藤 孝 喜	登米市中田町
入 選	ハネムーン	一 條 待 子	仙台市青葉区
入 選	内沼の朝	熊 田 貴 志	仙台市太白区
入 選	淡霧の飛翔	川 崎 淳 一	仙台市太白区
入 選	沼の珍客	佐 藤 宣 雄	仙台市泉区
入 選	昼時乱舞	芳 賀 和 代	山形県寒河江市
入 選	鷺のいる静景	佐 藤 崇	仙台市泉区

総 評

今年も昨年に比べ出展者数が少し減少してしまいました。しかし、全体のレベルは決して下がってはいないと感じました。今年も力作が揃いました。少し残念なのは、沼で憩う人物などのスナップ作品が減少しています。入選から人物作品は消えてしまいました。マガンの大群の飛翔のシーンは根強いですが、過去に比べると減少しています。もしかすると天候と大群の飛翔のタイミングや飛行ルートが合わなくなって撮影機会が減少したのでしょうか。もし、それが環境の変化であるならば、とても心配されるところです。このフォトコンテストは、伊豆沼・内沼のすばらしい自然を多くの方々に知って頂き、大切な自然を守ろうという啓発的な役割も担っていると思っています。今年もハクチョウを被写体とした作品が上位に多く入りました。マガンに比べて体が大きい上、撮影距離も短いので、アップの作品に特に強さを感じました。

フォトコンテスト審査員 井村 淳 (いむら じゅん)



1971年生まれ。横浜市在住。
日本写真芸術専門学校卒業。
竹内敏信氏の助手を経てフリーになる。
サバンナの動物を中心に世界の野生動物や日本の自然など「野生」を求めて活動。
(社)日本写真家協会会員。チーター保護基金ジャパン名誉会員。キヤノンEOS学園講師など。
著書『大地の鼓動』『あざらしたまご』他。

ホームページ
(J's WORLD Nature Photographer Jun Imura's website)



【評】 とてもドラマチックなシーンを見事にとらえています。沈む夕日を超望遠レンズで大きく引き寄せ、その前を通過するハクチョウ2羽にしっかりとピントを合わせているところはお見事です。夕陽は晴れていないと見えませんが、この作品は、晴れ過ぎずほどよい薄雲がおもしろい模様になっている、空のシャッターチャンスが絶妙です。白飛びしがちな太陽の輪郭もきれいに表現できている露出の設定も良かったです。

金賞（栗原市長賞）
「力くらべ」

庄子 源六



【評】 ハクチョウのケンカは、かなり速い動きで、狙っていてもシャープにとらえるのは難しいです。つばさの広がり方や水飛沫など一瞬の動きですが、良いシャッターチャンスがとられています。また、朝の光りでしょうか、低い角度の光がとてもきれいです。画面下の空間が若干広いので3:2程度にトリミングするのも良いです。



【評】 数え切れないほどの鳥の大群の飛翔シーンに圧倒されました。望遠レンズで圧縮される事で密集感が上がり、隙間がないほどの密度がすばらしい迫力です。また、光線が半逆光で沼の飛沫やつばさの透過が美しいです。それは、暗めの背景に重ねたのも功を奏しています。鳥一羽一羽を見てもシャープでピント位置やシャッター速度の設定も完璧です。

金賞 (登米市長賞) 「月夜の埭入り」

大森 俊裕



【評】 月の出直後の赤い満月をバックにねぐらにもどるマガンの飛翔をとらえた美しいシーンです。満月は1ヶ月に1回しかなく、天候にも左右される難しい被写体ですが、そのチャンスを逃さずに捉えたステキな作品です。マガンの編隊がすこしバラついているのが惜しいですが、マガンが月に重なった良い瞬間をとらえています。

銀賞

(栗原市観光物産協会
会長賞)

「飛沫」

藤江 健一

【評】 ハクチョウがつばさをはばたき、上がった飛沫を美しくとらえた作品です。暗い背景に逆光になるカメラポジションの設定が素晴らしいです。そして、それをモノクロで見せ、飛沫が強調されたのも良かったです。やや暗過ぎてハクチョウの頭部が背景に同化してしまったのが惜しいです。



銀賞

(登米市観光物産協会
会長賞)

「昇陽の刻」

森川 隆

【評】 パッと見たときの画面のきれいな色に目を奪われました。太陽がほどよい雲でまぶしくないくらいの日の出だと思いますが、写真には良い状況ですね。2羽のハクチョウがつばさを開いた絶好のシャッターチャンスです。若干左側の空間が広く感じるので、ひと回りトリミングするとより良いです。

銀賞

(宮城県伊豆沼・内沼
サンクチュアリ友の会
会長賞)

「暁天」

千葉 保幸

【評】 伊豆沼の朝の定番のみどころになりました、西岸の堤防からの光景ですね。定番とはいえ、日の出と大群での飛翔のシーンは希で、幸運も必要となります。一斉に飛び上がったマガンが画面全体を埋めつくすような画角の設定に迫力があります。水面の入れ方などフレーミングもとても良いです。



銅賞 (河北新報社賞)
「晩秋の灯り」

金子ひろみ



【評】 枯れたハスの茎と花托のシルエットを電気スタンドの
様に見たてて、太陽を重ね合わせたとてもおもしろいね
らい方です。周囲のハスの茎の線もおもしろい幾何学模
様になり、オレンジ色の水面にきれいに浮かび上がって
います。おもしろい発想とアイデアでステキな伊豆沼が
表現されています。

銅賞 (読売新聞東北総局長賞)
「無限のまえに」

工藤 俊



【評】 北極星を中心と
した円周の星の光
跡が美しいです。
飛行機の光跡でし
ょうか、その円の
中心を通る斜めに
通った直線が、実
におもしろいデザ
インとしてとらえ
られています。恐
らくサンクチュア
リセンターを入れ
て撮影されたのだ
と思いますが、も
うすこし伊豆沼ら
しさが分るとよ
り良かったです。

銅賞 (朝日新聞仙台総局長賞)
「盛 夏」

日野 俊文



【評】 青い空をバックに大きなハスの花を低い位置からね
らった迫力のある構図です。光が花びらを透過して鮮
やかさを強調すると同時に、夏の日射しを感じさせて
くれました。ハチが一匹飛んでいるのもおもしろい
です。よく見るとセンサーにゴミがたくさん付いている
のが気になります。

銅賞 (毎日新聞仙台支局長賞)
「楽 園」

伊藤利喜雄



【評】 田んぼでしょうか、落穂などをついばむハクチョウが
広めの画角にもかかわらず、これだけの密集度でとらえ
られ、その上空をマガンの群れが舞っている鳥だらけの
画面は圧巻です。まさに鳥の楽園なのですね。間近な撮
影者にかまわず、皆下を向いて食事に忙がしそうな様子
がおもしろいです。

入選 「ただいま」

小幡 幸一



【評】 大きくつばさを広げ、着水の瞬間の美しい姿がとらえられ
ています。逆光でつばさが光をすかし、透明感があります。
他に邪魔なものも無く、画面をホワイトバランスでしょうか、
青味で見せているのも爽快感があって良いです。

入選 「スノウホワイト」

二階堂正宏



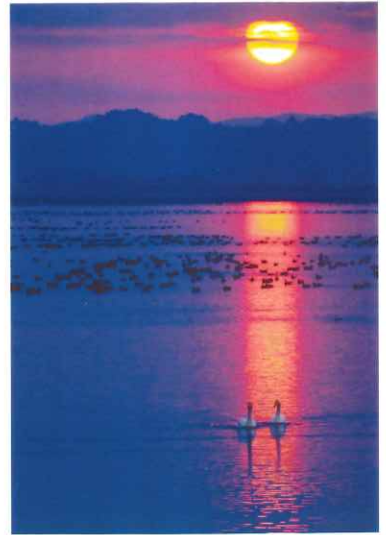
【評】 地吹雪の中でしょうか、真っ白な画面の中にうすくまるハ
クチョウの表情がアップでとらえられたおもしろい作品です。
露出も白さが際立つようなギリギリの明るさの設定が絶妙で
す。ピントもしっかりと目がシャープにとらえられています。

入選 「ハス花にツバメ」 伊藤 孝喜



【評】ハスの蕾に一羽のツバメが休んでいる、のどかな光景ですね。ハスは蕾がひとつとシンプルで、背景もすっきりとしたところに合わせ、主役のツバメがきれいに浮かび上がって見えます。こちらをチラッと見ている様な仕種も良いです。

入選 「ハネムーン」 一條 待子



【評】青味があった画面に朝日と水面に映り込んだ、赤い光りの道がドラマチックな雰囲気です。その光の道を2羽のハクチョウが仲よく泳いでくるところを、あえて浅い被写界深度で浮かび上がらせているのが面白い見せ方です。

入選 「内沼の朝」 熊田 貴志



【評】内沼から一斉に跳び上がったマガンの群れを、朝日をバックにとらえた迫力ある作品です。伊豆沼の朝のマガンの飛翔写真はよく見ますが、内沼は珍しいですね。スキの入れ方が少し中途半端ですが、空が広めで印象的な切り取りです。

入選 「淡霧の飛翔」

川崎 淳一



【評】背景が見えないほどの霧が立ちこめた沼の奥から、マガンが飛んでくるこの作品はとても幻想的です。早朝の色でしょうか、ピンク色掛かった色味も良い雰囲気です。出力に和紙の様な用紙が使われているのも効果的だったと思います。

入選 「沼の珍客」

佐藤 宣雄



【評】朝日でしょうか、きれいな光がスポットライトの様に当たっていて、青みがかった日陰の背景に浮かび上がっているのがきれいです。白いガードレールは目立ってしまうのでぎりぎりのところで切り取るとより良いと思います。

入選 「昼時乱舞」

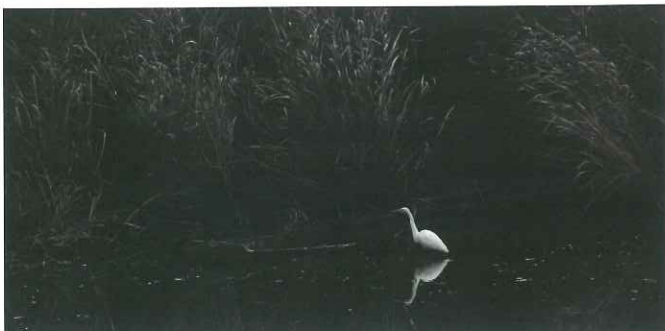
芳賀 和代



【評】昼間のマガンの群の飛翔を、曇り空でもシルエットでクッキリととらえています。かなりの数で空を埋め尽くす様子は迫力があります。サンクチュアリセンターが写っているのもおもしろいです。気持ち地面を少なくすると良いです。

入選 「鷺のいる静景」

佐藤 崇



【評】暗めにとらえた画面から白く浮かび上がったサギの存在感がとても強いです。背景に沈みかけの舟を入れたのも伊豆沼らしい光景です。モノクロにしたのは、色を無くすことでヨシとサギの形を強調する効果的な手法です。